



茅野市立米沢小学校

人間関係力を自ら育み、友とともに学力を高め、生き方を決定し、茅野市を愛していく児童・生徒の育成（永明中学校区 運営の重点）

米沢小を取り巻く地域

- 豊かな自然と伝統文化、大清水、里山丸山や吉田山、縄文遺跡、縄文のビーナス人材の輩出（小平権一・邦彦親子他）、米沢村村歌
- 活力ある地域の教育力
 - 子どもを見守る地域の体制
 - ・米沢小コミュニティスクールや環境整備委員会等による学校支援
 - ・読みきかせボランティア・「ぽっかぽか」や農業支援「みどり市」等

学校教育目標

ひとりでできる みんなとできる

めざす子ども像

自ら考え判断し、進んで学習に取り組む子ども

やさしく思いやりのある子ども

めあてをもって、最後までやりぬく子ども

茅野市の教育

- 21世紀を切り開く心豊かでたくましくやさしい夢のあるひと育ちの茅野市教育
- 読書教育
 - 小中一貫教育
 - 幼保小連携
 - 縄文科
 - 生き方教育
 - ICT教育 等

めざす学校像

「明日も来たくなる学校」

～子どもと教師、家庭・地域が共に創り育てる学校～

実践目標

- 一人ひとりの学力を高める「主体的・対話的で深い学び」の実現
- 心を育てる読書教育の充実
- どの子にも優しい特別支援教育の視点に立った指導
- 異学年交流、小中一貫教育、幼保小連携教育、地域との交流などによる縦のつながりの強化
- 探究的な学習を実現するための縄文科・総合的な学習の取組
- 子どものための働き方改革の推進
- 安心安全な学校生活の保障

- 三つの教育観**（子どもを肯定的にとらえるという子ども観
自ら獲得した力こそ真の学力であるという学力観
誰一人孤立させないという授業観）を基盤に
- 三つの柱**（温かな学級づくり・主体的対話的で深い学びとなる授業づくり・様々な人とつながる自分づくり）と
- 三つの合言葉**（あいさつ・ニコニコ・いっしょうけんめい）を大切にされた教育活動の推進

全校研究テーマ

自分の考えを友と深め合いながら、表現する力を高めていく学習のあり方はどうあったらよいか

教科

- 個の理解に基づく児童が主役の学びの推進
- 学力実態の把握とみのりの時間や家庭学習の習慣化による基礎学力の向上
- 教科担任制の積極的な活用による深い学びの実現
- 信州型ユニバーサルデザインや特別支援教育の視点を生かした学習の推進
- ICT 機器を活用した豊かで学びの実現

道徳・人権教育・特活

- 自尊感情と命を大切に育む心育成
- 読書活動・調べ学習・家庭読書の推進
- 楽しく充実感が持てる学校行事
- 子ども主体の児童会活動の展開
- 生き方教育の推進
- 食育・清掃活動の充実

縄文科等

- 課題を持ち主体的に探究する学習
- 豊富な地域素材・地域課題の活用
- 調べ学習の充実（パソコンや図書館の活用）
- 縄文人の生き方に学ぶ学習の推進
- 発信性や提案性の重視

生徒指導・生活指導

- 心のよつばのクローバープランをもとにした指導
- 全職員による児童理解
- 温かな人間関係づくり
- 挨拶と言葉づかい、返事の指導
- どの子にも居場所のある学級づくり
- 配慮を要する児童への組織的・計画的な関わり
- 児童自身が考える交通安全・不審者・防災への適切な対応

地域との連携

- 地域で子どもを守る組織作り
- コミュニティスクールとの連携・活用
- 地域の施設や諸団体との交流
- 学校だより等による情報発信
- 学童クラブ・子ども館との連携
- 感謝の気持ちを持つ地域貢献

- ・全校、学年、学級、個の実態に合わせた実践と評価
- ・児童や保護者、職員による学校評価や学校関係者評価を踏まえた学校運営の改善

本校教育に寄せる願い

児童の願い

- 悲しい思いをする人のいない明るく楽しい学校
- やる気がわく楽しい学習ができる学校
- 楽しい行事や集会がある学校
- 様々な人とふれあい、学び合える学校

保護者や地域の願い

- 子どもの安全と人権が守られ喜んで通える学校
- 確かな学力がつく学校
- 礼儀正しく挨拶ができ地域の中で子どもが育つ学校
- 地域と連携しながらともに歩む開かれた学校

職員の願い

- 主体性や創造性を尊重し合い、同僚性を発揮できる学校
- 子どもの事実から学ぶ授業づくり、一人ひとりが大切にされる学級づくりができる学校
- 保護者や地域から信頼される学校